

ニチレイロジ、タイ・バンコク近郊で日本同等設備の新拠点稼働

Edited By LogisticsToday On 2014/11/10



ニチレイロジグループ本社はこのほど、49%を出資する関連会社のSCGニチレイロジスティクスが、タイ・バンコク市近郊で物流センターを稼働したと発表した。

新物流センターは、LED照明や内部陽圧システム、エアシェルター、移動ラックなど、ニチレイロジグループの国内拠点と同等の設備を備え、システム面では倉庫管理機能のほか、顧客向けWEBサービス機能、多言語化対応のクラウド型倉庫管理システムを導入している。

同物流センターの稼働により、保管・通関から輸配送まで一貫物流サービスの提供が可能となった。ニチレイロジグループ本社では「タイ国内の低温物流にとどまらず、欧州や日本、東南アジアをつなぐ国際複合一貫物流サービスの提供を目指していく」としている。

■物流センターの概要

所在地:173 Moo 16, Bangsaothong, Samutprakarn 10540, Thailand

構造:鉄骨造、平屋建

設備能力:2万2800トン(F級冷蔵庫1万1400トン、FC級冷蔵庫1万1400トン)

接車バース:22基

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/131571>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.